

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	日本工業大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ニッポンコウギョウダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップキャリア工房
	学部・研究科等名	工学部
	担当教職員名・役職	菊地 信一・キャリア教育課程幹事 教授
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	84
	受入企業等数	32
	受入企業等名	埼玉ゴム工業株式会社・株式会社ナカノフード建設・東武鉄道株式会社・株式会社アルプス技研・株式会社松永建設
	インターンシップの分類	4.他県をまたぐ広域インターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ,9.その他
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	短期(主に実働5日~10日)
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外の就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前授業を受講し実働5日以上の就業体験をした上で、報告書を提出し報告会に出席することで単位付与。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	現在1学部7学科体制。各学科毎の専門科目として位置付けている。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	おおむね6回の事前授業を行っている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ終了後に各学科毎に報告会を実施している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	学生からの要望に応じて適宜行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	インターンシップ終了後に学生からの報告書の提出を実施している。
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前授業を受講する前にアンケートを実施するなどの効果を明確に測定する仕組みが整備をされていないため、今後本学が取り組むべき課題として認識している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実働5日間以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実働5日以上の就業体験にのみ単位を付与している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとつての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している,4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	一部企業との取り決めでは、事前に内容の検討を実施しているケースもある。
	7.上記①~⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.nit.ac.jp/recruit_support/
問い	大学等名	日本工業大学
	担当部署名	キャリアデザインルーム

合 わ せ 先	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	0480-33-7743
	メールアドレス	career@nit.ac.jp